



市では、毎年、新成人を市役所に迎え、澤井市長・高阪教育長とテーブルを囲み、将来の夢や抱負、市に対する意見などをお聞きしています。今回は新成人1324人の代表として5人に語っていただきました。今回はその時の一部を抜粋してお伝えします。

松原市に対し、思うことを教えてください



【稲垣】交通機関や高速道路などに恵まれていて、とても住みやすいです。しかし、高齢者や障害者も通人たちでも通しやすい施設が少ないように感じます。利便性を考える、みんなが集まることのできる施設が増えればうれしいです。「松原市に住んでよかった」と思える目玉をもっと作ってほしいです。

▶稲垣里菜さん(松中) 患者さんと直接接する薬剤師を目指している。趣味はお菓子屋巡り。大人になっての抱負は、周囲の人たちに温かい気持ちで接すること。



問合せ
市民協働課
(0337・3103)

21世紀のまちづくりを考える



【谷】松原は、地域の人たちが周囲を見守る環境が整っていて、普段からあいさつなどの声かけがされています。セーフコミュニティの国際認証を取得し、安心・安全に暮らせるよう職員の皆さんも、さまざまな取り組みをしていると思いますが、さらに高齢者や家族の人たちが住みやすいまちにしてほしいです。また、もっと小さなこと、例えば「夜道が暗くて不安を感じる」などにも目を向けてもらいたいと思います。

▶谷絵里菜さん(二中) 看護師になって、自分の力で患者さんを和ませるのが夢。大人になっての抱負は責任を持ち、常識をわきまえ行動できる人になること。

【山口】先日、誕生日を迎え投票権が与えられました。家族の投票券と一緒に私のものも同封されており、「戸惑い」を感じました。何について選挙なのかもよく分からず、結局行けずじまいになってしまいました。初めて投票権をもつ20歳の人には、簡単な案内があれば、もっと市政に参加するのではないかと思います。選挙の意義や投票の仕方を若い人たちに説いてほしいです。



▶山口優衣さん(三中) 大人になっての抱負は、何事にもゴールを決めて取り組むようにすること。残りの大学生活で自分のやりたいことを見つけたい。

【竹内】「まつばらマルシェ」や「マッキー」「まつばらくん」などができて、松原に盛り上がりを感じます。個人的には、ゆるキャラ(R)ブームは若干去ってきているような気がするのですが(笑)でも、そんな中でももっと地域に根づいてくれればと思います。選挙について、年齢が20歳から18歳に引き下がりましたが、若者に政治への関心を高めてもらうために何か対策があるのか聞きたいです。



▶竹内春菜さん(四中) 趣味は美術館・博物館巡り。より深く芸術に触れていきたいと思っている。将来の夢は、大学で学んでいる語学を生かせる道に進むこと。



【中尾】松原はスポーツがしやすい環境だと普段から感じています。ですが、中学校では各学校によって部活にばらつきがあるため、部活環境を整えてほしいと思います。例えば、市をあげて共通するスポーツを行うなどすれば、盛り上がるのではないのでしょうか。また、「スポーツパークまつばら」を足がかりとして、各地にこのような施設を作り、さらに活気あふれる松原になってほしいです。

▶中尾圭佑さん(六中) 週1回、友人たちとバスケットボールを市民体育館でするのが楽しみ。これから税政の知識を身につけ、生かせる職業につくことが夢。

大きな目標と

周囲への感謝を
松原市長 澤井宏文



成人式を迎えられた皆さん、おめでとうございます。私からは二つお話しさせていただけます。

一つ目は、まず親や家族、周りの人たちに感謝の気持ちを持つこと。

今日は、皆さんにとってお祝いの日ですが、お世話になった方々に感謝を伝える日にしてください。

二つ目は、大きな目標や夢、志をもってほしいということ。皆さんは、しっかり努力すれば、これから何にでもなれます。

市も、皆さんがきちんと活躍できる場を作り、応援していきますので、頑張ってください。

自分の未来を広げる、
そのために

教育長 高阪俊造



皆さんは、何のために勉強してきましたか。

進学のため、自らの知識欲を満たすため、親のため、自分に自信を持つため、人それぞれあるでしょう。

私は、皆さんの「やりたいこと・なりたいもの」の選択肢を広げる、つまり自分の可能性を広げるために勉強するのだと思います。

皆さんは今まで勉強してきたからこそ選択肢が広がり、自分のやりたいことが見つかったのです。

そして、これからも勉強し続けていくことで、もっともっとあなたたちの未来は広がっていきます。

頑張ってください！